

委員会宣言 (案)

私たちJR東労組東京地本は、第41回定期委員会を滝野川会館において開催し、18春闘勝利!「格差ベア」を永久的に根絶するために、スト権の確立を背景にして「あらゆる戦術」を行使して全組合員でたたかい抜き、安全衛生委員会の議論の充実と労働者の権利意識を高めることを通じて事業場単位の締結と、安全第一で健全な職場の構築に向けて組織の総力でたたかいをつくり出していくことを確認した。

18春闘は「格差ベア」の永久的根絶と共に、全組合員一律6,000円引き上げと定期昇給の実施をはじめとする要求の満額獲得、回答指定日に回答を引き出すために全組合員の総決起でたたかう。

申13号交渉は、会社と格差ベア根絶を確認できず対立が鮮明になり、労使の紛争状態はさらに悪化した。そして本部は、2月16日、現在の労使紛争を打開するために、ベアの基本概念に立ち返り、闘申1号で「所定昇給額」を算出基礎にしないベースアップの実施等を求める緊急申し入れを行った。

「格差ベア」の狙いは、所定昇給額を算出基礎とすることでベアを曖昧にして年功賃金を形骸化する「ベアの否定と破壊」だ。定期昇給とベアは明確に分けて考え、両方維持することが大事である。そのために、所定昇給額を算出基礎にした格差ベアに終止符を打つことは絶対に譲ることはできない。そもそも今日の紛争状態は、会社が2012年の人事・賃金制度導入時に「ベアのあり方」を意図的に隠し労使協議を行わなかったことが端を発していることを明確にする。

“ベアにまで格差をつける必要はない”これが組合員の声だ。労働組合として格差と差別は断じて認めることはできない。意図的な報道がある中で賛同・支援の声がたたかいは後押ししている。東京地本はいかなる妨害策動を跳ね返し、自信と確信を持って、闘争準備指令に基づいた「指名スト」や「非協力闘争」など「あらゆる戦術」を行使してたたかい抜く職場体制を構築していく。そして「格差ベア」の永久的根絶をめざし、退路を断ち、不退転の決意で挑んでいくものである。

現在、東京支社をはじめ各支社で労働基準法違反が発覚し、その実態は異常だ。組合員の「命と健康」を守るために労働基準法違反撲滅と超過勤務縮減を実現しなければならず、各現場における安全衛生委員会で具体的に議論し、その質と強化を図ることだ。積み上げてきた労基法勉強会や労基署行動で「労基法は労働者を守る法律であり、労働者を鍛える教科書だ」の言葉に表されるように、組合員の権利意識が高まっている。全組合員で労働者の権利意識を学び、第三者機関を活用しつつ、事業場単位の締結をめざし分会組織を強化していこう。

今、鉄道会社の最大の使命である「安全」は非常事態だ。東京地本は「安全の意見書」や「JR東日本の安全は“非常事態”なぜ『福知山線事故前夜』と主張するのか!」「職場実態アンケート調査結果に対する私たちの考え方」「30年提言」で、経営側の安全や人材育成に向き合う姿勢を指摘すると同時に自らの職務に真摯に向き合い全うすることを訴えてきた。しかし今日の事態は、同種事故・事象が繰り返し発生し、輸送障害も多発するという事故の連鎖が止まらない。今重要なことは、人間に力を蓄積させ、鉄道業の専門性を重視し仕事に誇りを持てる、安全第一で健全な職場を構築していくことである。そのために、事故予防委員会や安全衛生委員会の活動を強化し、安全で安心感の持てる職場を創造していこう。

営業職場はこの1年間の職場からのたたかいで「結集する力」を培ってきた。そして、全組合員の行動により要求を実現できることを証明してきた。昭和採用から平成採用へのバトンゾーンを迎える中で、10年先の職場を見据え、エルダー雇用の場の確保を前提に鉄道事業者の使命が果たせる職場と営業のプロを育成できる「組合案」実現に向けて、分会運動を強化していかなくてはならない。

今後の人口減少社会を踏まえると、地方ローカル鉄道の維持・存続はJR東労組の重要な運動の柱だ。3年間の「デスティネーション只見」で培った地域との信頼を基に、只見線が全線開通する2021年まで「只見町地域おこし協力隊」を全支部で取り組み「第二のふるさとづくり」を進めていこう。

時代は大きな転換点だ。憲法第9条改悪、国民投票の動きが加速する中で、立憲主義と平和憲法を守り抜くために国民投票に勝利していく。そして“唯一の戦争被爆国”として「戦争のない核のない平和な社会」をめざし、核兵器禁止条約批准に賛同する広範な連帯活動をつくり出していこうではないか。

JR東労組結成31年目を迎え、新たなたたかいの地平に立った。将来のJR東労組とJR東日本会社を創造するために、今こそ全組合員の英知を結集し、安全第一・現場第一主義、人間尊重の健全な職場を構築しよう。そして、積み上げてきた組織の団結力で「格差ベア」の永久的根絶と要求の満額獲得に向けて、全職場からたたかいは起ち上がるろう!

以上、宣言する。

2018年2月17日
東日本旅客鉄道労働組合東京地方本部
第41回定期地本委員会

積み上げてきた組織の団結力で「格差ベア」の永久的根絶と要求の満額獲得に向けて、組織の総力でたたかいはつくり出していくことを確認!